

医療における社会・行動科学

ナンバリング:N1-L1-Z01

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 香川 由美 助教		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野		
対象学年	1	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

本科目では、医療と保健の現場で用いられている行動科学の理論とモデルについて概説する。医学的な知識に加えて行動科学の基礎理論を学び、人間の行動を科学的に捉える基礎知識を会得することは、医療と保健の現場において対象者の課題についてロジックを立てて理解し、効果的にサポートすることに役立つ。また、医師、歯科医師、薬剤師、看護職が共通の行動科学理論を理解することは、チーム医療を効果的に実施する上で極めて重要である。行動科学モデルを種々の場面で応用するための基礎を修得する。

・教育成果(アウトカム)

人の行動や意思決定に関わる心理的要因、社会的要因、およびそれら要因間の相互作用に関する知識を学び、行動科学理論の医療への応用方法を理解することにより、医療人として患者と対応する際に、患者の課題を理解し、効果的に関わる方法を選択できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。

・到達目標(SBO)

- 1.医療における行動科学の役割を説明できる。
- 2.社会、文化、心理的要因により健康観が異なることを理解できる。
- 3.健康と病気に関わる諸要因について説明できる。
- 4.保健行動の実行を支える諸条件を列挙できる。
- 5.ストレスとコーピングについて説明できる。
- 6.保健行動に関する主要な行動科学モデルを説明できる。
- 7.健康に関わるエンパワメントとライフスキルについて説明できる。
- 8.行動科学モデルを、個人、集団、医療など、種々の場面に応用できることを説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/17 金 2限	【授業内容】健康と病気に関わる諸要因 【双方向授業】【ICT(WebClass)】 1. 健康の概念について学び、WHOの健康の定義を説明できる。 2. 生活習慣や環境と健康の関連について学び、説明できる。 3. わが国の健康増進施策の変遷を学び、現在の施策の目的や目標について説明できる。 【関連するSBO】1, 2 【事前学修:60分】健康とはどのような状態をいうのか自分の考えをまとめておく。 【事後学修:90分】講義内容を復習し、WebClassの理解度チェックに取り組む。	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教

5/8 金 2限	<p>【授業内容】健康行動理論(1) 【双方向授業】【ICT(WebClass)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康行動の種類を学び、人の健康状態の自覚に応じた行動を説明できる。 健康信念モデルについて学び、人が健康行動をとる条件を説明できる。 事例をもとに、健康信念モデルに基づいた支援を考えることができる。 <p>【関連するSBO】3, 4 【事前学修:60分】教科書第1章(p.3-7)を読む。 【事後学修:90分】講義内容を復習し、WebClassの理解度チェックに取り組む。</p>	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
5/15 金 2限	<p>【授業内容】健康行動理論(2) 【双方向授業】【ICT(WebClass)】【対話・議論型授業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 社会的認知理論を学び、人の行動に影響する6つの要素を説明できる。 事例をもとに、社会的認知理論に基づいた支援を考えることができる。 <p>【関連するSBO】4, 5 【事前学修:60分】教科書第2章(p.20-24)を読む。 【事後学修:90分】講義内容を復習し、WebClassの理解度チェックに取り組む。</p>	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
5/22 金 2限	<p>【授業内容】健康行動理論(3) 【双方向授業】【ICT (WebClass)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 変化のステージモデルを学び、人が新たに良い生活習慣を取り入れたり、良くない生活習慣をやめたりする上での心と行動の関連を説明できる。 事例をもとに、変化のステージモデルに基づいた支援を考えることができる。 <p>【関連するSBO】4, 6 【事前学修:60分】教科書第3章(p.36-39)を読む。 【事後学修:90分】講義内容を復習し、WebClassの理解度チェックに取り組む。</p>	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
6/12 金 2限	<p>健康行動理論(4) 【双方向授業】【ICT(WebClass)】【対話・議論型授業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画的行動理論を学び、人の「やる気」に影響する3つの要素を説明できる。 コントロール所在を学び、人の「やる気」とコントロール所在の関連を説明できる。 事例をもとに、計画的行動理論とコントロール所在に基づいた支援を考えることができる。 <p>【関連するSBO】4, 6 【事前学修:60分】教科書第4章(p.50-53)と第7章(p.78)を読む。 【事後学修:90分】講義内容を復習し、WebClassの理解度チェックに取り組む。</p>	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
6/19 金 1限	<p>【授業内容】健康行動理論(5) 【双方向授業】【ICT (WebClass)】【対話・議論型授業】</p> <ol style="list-style-type: none"> ストレスについて学び、ストレスが健康に影響する仕組みを説明できる。 コーピングについて学び、ストレスの種類に応じた対処を挙げることができる。 ソーシャルサポート(社会的支援)について学び、健康への影響を説明できる。 <p>【関連するSBO】3, 4, 7 【事前学修:60分】教科書第5章(p.60-62)、第6章(p.71-72)を読む。 【事後学修:90分】講義内容を復習し、WebClassの理解度チェックに取り組む。</p>	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
6/24 水 1限	<p>【授業内容】事例検討 【双方向授業】【ICT (WebClass)】【対話・議論型授業】</p> <ol style="list-style-type: none"> これまで学んだ健康行動理論を振り返り、事例について健康行動理論に基づいた支援策を提案できる。 <p>【関連するSBO】8, 9 【事前学修:60分】本科目で学んだ健康行動理論のそれぞれの特徴を確認する。 【事後学修:90分】講義内容を復習し、WebClassの理解度チェックに取り組む。</p>	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教
7/7 火 4限	<p>【授業内容】まとめ:行動科学を活用した健康維持・増進の支援 【双方向授業】【ICT (WebClass)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 医療における行動科学の活用、医療者と患者の関係が治療に及ぼす影響、全人的医療について、自分の意見を述べるができる。 <p>【関連するSBO】8, 9 【事前学修:60分】本科目で学んだ健康行動理論のそれぞれの特徴を確認する。 【事後学修:630分】WebClassの理解度チェックに取り組む。定期試験に向けて総復習をおこなう。</p>	心理学・行動科学分野 香川 由美 助教

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 第2版	松本千明	医歯薬出版	2024
参	健康行動学:その理論、研究、実践の最新動向(原著第5版)	Karen Glanz他/水原雅子ほか(訳)	メヂカル・サイエンス・インターナショナル	2018

・成績評価方法

【総括的評価】

前期定期試験成績60%(多肢選択式問題)、ワーク類40%(第2回～第7回の授業のワークの提出状況および内容。WebClassから提出)

【形成的評価】

講義毎に理解度チェックをWebClassで実施し、理解度、到達度を確認する。結果はWebClassからフィードバックする。理解度チェックの結果は成績には反映しない。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1～5	1～8		60					60
1～5	1～8			40				40
合計		0	60	40	0	0	0	100

(備考)

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・第2回から第7回の授業で取り組むワーク類の課題には、WebClassからフィードバックを行う。また、次の授業で、よく書けていた提出物を紹介して解説したり、間違えやすいポイントについて説明を補足したりする。
- ・学生からの授業に対する質問や要望については、授業時およびWebClassのメッセージから随時受け付ける。質問・要望には、翌回の講義にて説明や回答をおこなう。
- ・定期試験後にフィードバックとしてWebClassを通じた解説もしくは補講を実施する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC (Panasonic CF-SV Let's note)	1	講義資料の提示
講義	ノート型PC (NEC LLAVIE PC-GN235AAAF)	1	講義資料の作成
講義	書画カメラ・DVDプレーヤセット	1	講義資料の提示